

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	647	配信日	2025/12/30	ジャンル	業界情報
テーマ	なぜ今、プラチナが高騰しているのか				

金や銀と同様にプラチナもかなり高騰しています。
宝飾品のイメージが強いプラチナですが、現在は投資や産業分野での重要性が見直されつつあります。
2025 年にかけては、供給不安と需要拡大が重なり、市場環境が大きく変化しています。
今回は、プラチナが高騰している理由を供給面と需要面の両方から整理していきます。

南アフリカ依存による供給不安

プラチナは世界生産量の約 7 割を南アフリカ共和国に依存しており、供給構造が極めて偏っています。
2025 年には洪水被害に加え、慢性的な電力不足や労働問題が続いており、生産量は安定していません。
このため、世界市場では供給不足が常態化し、プラチナ価格を押し上げる要因となっています。

リサイクル供給の伸び悩み

プラチナは廃車からの回収によるリサイクル供給も重要な供給源ですが、自動車の耐久性向上により廃車台数が伸びず、二次供給は増えていません。鉱山供給が不安定な中、リサイクルが補完できていないことも、需給の逼迫を強めています。

工業用途を中心とした底堅い需要

プラチナは自動車触媒や化学分野、電気・電子機器、医療用途など、工業用途が需要の半数以上を占めています。
特に水素製造や燃料電池といった脱炭素関連分野では不可欠な素材であり、今後も安定した需要が見込まれています。この工業需要の強さが、価格を下支えしています。

水素エネルギー社会への期待

脱炭素社会の実現に向け、水素エネルギー分野が拡大する中で、プラチナは燃料電池や水電解装置の触媒として重要な役割を担っています。中長期的に新たな需要の柱となることが期待されており、将来性への評価が高まっています。

金の代替投資先としての需要拡大

金価格が史上高値圏で推移する中、割安感のあるプラチナが代替投資先として注目されています。

ETF などへの資金流入も進み、投資需要が価格上昇を後押ししています。

また、耐久性と希少性の高さから宝飾品としての評価も高く、中国を中心に需要が拡大しています。



ガソリン車継続による触媒需要の回復期待

EU が 2035 年の脱ガソリン車方針を見直す可能性を示したことで、ガソリン車やディーゼル車の利用が想定より長期化するとの見方が広がりました。
排ガス浄化装置に使われるプラチナの需要回復が意識され、市場では買い材料として受け止められています。

今日売る動機付けに使えるトーク

「工業に使われている貴金属は相場変動が激しいのが特徴です。
今は EU が 2035 年の脱ガソリン車方針を見直す可能性を示したことで、過去最高値圏を記録しております。
ただ、そういう状況のなかでも 12/25 には 1249 円下がっており、決して上がり続けるわけではありません。
下がった要因としては投資家が『一度利益を確定しよう』と売りに出した影響によるものです。
そのため不安定な状況の中でも今高いうちにご売却したほうがいいですよ。」

「プラチナが今高いんですけど、下がる可能性があるとしたら“パラジウムが代替として使われるケース”ですね。
そもそもプラチナって、ガソリン車とかディーゼル車の排ガスをきれいにする触媒に使われてるんですけど、ここはパラジウムと役割が結構かぶってるんですよ。なので、もし今後パラジウムの価格が下がってきたら、『じゃあコスト的に安いパラジウムに戻そう』っていう動きがメーカー側で出てくる可能性があります。
そうすると、プラチナの需要が減るので相場が下がる要因になります。
そういう状況になる前に今高いうちにご売却したほうがいいですよ。」